1-03 港湾・物流の確保

視　点	●市民に愛され、親しまれる港があるまちにすること ●道北圏域を含めた物流と地域経済が活発なまちにすること

1-03-01 留 萌 港

令和８年度の目指す姿

●留萌港の経済圏である留萌・上川・北空知地域を中心とした物流が活発になっています。
●港湾荷役等をはじめとする港湾関連サービスが安定的に提供されています。

前 期 5 年 間 の 検 証

●主要貨物の一つである石油製品の取扱量は横ばいですが、その他の貨物、特に石炭については、火力発電所の休止等の影響を受け減少が続いています。
●世界的な脱炭素の取り組みが進み、貨物量のさらなる減少が懸念されることから、国や北海道等との連携により、新たな物流の確保に向けた情報収集等に努めるとともに、企業に対するポートセールスを継続し、利用促進に向けた取り組みを進めていくことが必要です。

現　状　と　課　題

●企業の札幌圏集中、不安定な景気、カーボンニュートラル（二酸化炭素の排出と吸収の均衡）の推進などにより、留萌港の取扱貨物量は減少が続いており、新たな取扱貨物の可能性について、調査・研究が必要となっています。

後 期 5 年 間 の 方 向 性

●留萌港経済圏域との新たな連携を模索し、本来港が持つ物流・産業に関連する機能強化・効率化を図っていきます。
●発展が見込まれる洋上風力発電事業に関する資機材を扱う拠点港湾としての活用を見据え、関係機関と協議を進めていきます。

数　値　目　標

※現状：R2

指　標　項　目		現状	R4	R5	R6	R7	R8
留萌港取扱貨物量	（万ｔ）	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
港湾運送事業者数	（法人）	2	2	2	2	2	2

1-03-02 貿　　易

令和８年度の目指す姿

●道産木材の輸出など、留萌港での外貨貨物が安定的に取り扱われています。
●地場産品の海外販路開拓・拡大に向けたビジネス機会が創出されています。

前期５年間の検証

●サハリン文化経済戦略協議会に参画したほか、北海道国際流通機構の自治体会員に加入することで、幅広い地域との協力関係を構築し、地場産品の販路拡大のための情報収集に努めてきたところであり、今後においても、各種協議会に継続して参画し、地場産品の海外輸出につなげることが重要です。

現　状　と　課　題

●留萌港における主要な取扱貨物である石炭や石油製品、木材については、道北圏域のエネルギー需要の動向や道産木材の海外需要が不透明であることから、今後の見通しを立てることが難しい状況です。

●特産品の輸出については、各種協議会に参画することで、幅広い地域との協力関係の構築や地場産品の販路拡大のための情報収集に努めてきたところですが、商品のロット数や輸出許可、輸出コストなどに課題があります。

後期５年間の方向性

●社会情勢を注視しつつ、国・北海道等との連携を図り、外貨貨物に関する情報収集や研究を進めていきます。

●サハリン文化経済戦略協議会や北海道国際流通機構に加入することで、幅広い地域との協力関係を構築し情報収集を行うとともに、事業を活用した特産品の輸出につなげていきます。

数　値　目　標

※現状：R2

指標項目		現状	R4	R5	R6	R7	R8
留萌港取扱貨物量	(万t)	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0	105.0
輸出特産品数	(品)	1	1以上	1以上	1以上	2以上	2以上

1-03 港湾・物流の確保